

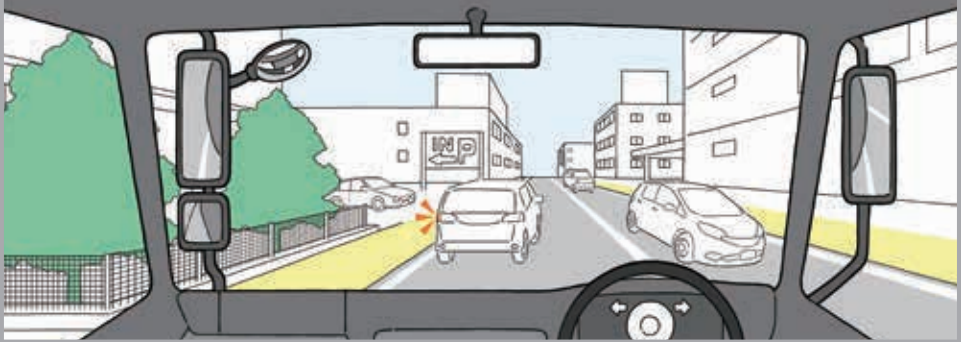
K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！ 前方車両の 動静不注視による追突

Y 事故を未然に防ぐために、予測される危険や
危険を避けるための運転について考えてみましょう。



Q

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



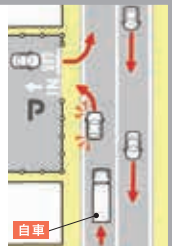
交通 状況

- 昼間、時速約40kmで配送先に向かっています。
- 真っすぐな片側1車線の道路の両側には店舗が立ち並んでいます。
- 前車は店舗駐車場出入口の前で「左折のウインター」を出して減速しました。

A

このような危険が！

- 前車への追突の危険
 - ・店舗から出る車を優先し、前車が停車すると追突する恐れがある。
 - ・「前車は左折する」との予測がはずれた時、回避行動が遅れ追突する恐れがある。
- 対向車との衝突
 - ・急な回避行動により、対向車との衝突や後続車から追突される恐れがある。



このような運転を！

- 前車や周辺からの合流車の動きに注意
 - ・店舗が並ぶ道路では、道路から店舗駐車場に出入りする車両が多いことを念頭に置く。
- 危険を予測した運転
 - ・自分の判断基準で他車の行動を決めつけず注意して運転をする。
- 前車と車間距離を詰めない

トラックによる追突事故は被害が甚大に！

トラックドライバーによる直進における追突事故の人的要因として、最も多いのが「わき見(45%)」、次いで「漫然運転(23%)」、「動静不注視(22%)」です。今回の「動静不注視」とは、相手当事者を発見認識したが、具体的な危険がないことを理由に、動静に対する注視を怠ったために発生させたことを指します。

*データは2017年～19年の累計人身事故。